

事業所名

もみの木放課後等デイサービス

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025年

7月

21日

法人（事業所）理念		私たちは、共生、共笑、共輝、共育できる社会を創造していきます。					
支援方針		障がいがある中でも最大限の能力を発揮できるよう、子どもたちひとりひとりの発達に合わせて支援すること。理解する力や伝える力、問題を解決する力など、社会に出て生きていく力を育てていく。					
営業時間		9時	0分	18時	0分	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・学校引き受け時に学校での様子の確認を行います。 ・来所時に健康観察を行います。 ・身辺自立や宿題等、個々の利用児に合わせて課題に取り組み、習慣化できるように支援します。 ・来所時や帰りの際に持ち物管理をする習慣を身につけます。 					
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・バランスボール、トランポリン、風船遊び・ボール遊び・公園遊び、ストレッチ、ラジオ体操等、それぞれの好きな活動を通じて楽しく身体を動かします。 ・製作活動を通じて作品を使ったり、ブロック遊びやゲーム等で手先を動かす機会を増やします。 ・遊びの中で手話を使う事で言葉の理解を深めます。 					
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の好みに沿った製作活動や季節に応じた行事を通じて季節を感じながら活動します。 ・友達とのやりとりでは、職員が介入し、順番を守る・物の貸し借り等、集団生活におけるルール理解を促していきます。 ・はじまりの時間・おやつタイム・お休みタイム・フリータイム・お片付けの時間・帰りの準備時間等、一日の流れを作り、時間を意識しながら活動します。 					
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたち同士で関わる機会が増えるように職員が橋渡しをします。 ・様々な人との関わりを通じて、いろいろなコミュニケーション方法に触れる機会を増やします。 ・絵カード・文字・音・感触など伝え方のバリエーションを増やし積極的に自分の意見や考えを伝える機会を図ります。 ・イラストやタイマー、絵カード、文字や指文字等で視覚的・聴覚的に理解を促し、個々に合わせた提示方法を行います。 					
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・希望を伝えるためにはどのような言葉が必要か、どう伝えたいか等、意思決定を促していきます。 ・友達とのやりとりや、集団活動や好きな活動を通じて様々な人と関わる機会を増やします。 ・製作活動や集団活動、おやつの際など、子どもたち同士で手伝ったり助け合う雰囲気大切にします。 					
家族支援		保護者面談・子育て支援相談（随時） 関係機関との連携 情報提供			移行支援		進学の際の相談、学校等への情報提供 学校や病院（リハビリテーション）・他の通所先との情報共有 環境変化に向けての課題提示及び実践
地域支援・地域連携		法人内交流。イベント等による地域への参加 各関係各所との連絡事項の共有やケース会議等の連携 市内及び市外福祉事業所・児童相談所等との連携 連絡会への参加等			職員の質の向上		採用時研修（入職時に実施） 法定研修 外部研修等（随時） 毎月のセクション会議、全体会議
主な行事等/その他サービス		各季節イベント行事（初詣、お花見、夏祭り、プール、ハロウィン、クリスマス会、卒業式等） 年2回の防災訓練 希望により給食提供					